発達障害相談事業・2006 年の概況

電話による発達障害相談

１．実　施　回　数　　１５３　回

第１期	平成１８年１月１０日	～	３月２３日	４１　回
第２期	平成１８年４月１０日	～	７月２１日	５６　回
第３期	平成１８年９月１１日	～	１２月２２日	５６　回

２．相　談　件　数　　３５２　件　　（　図１　相談者のべ件数　）

第１期	７２　件
第２期	１４６　件
第３期	１３４　件

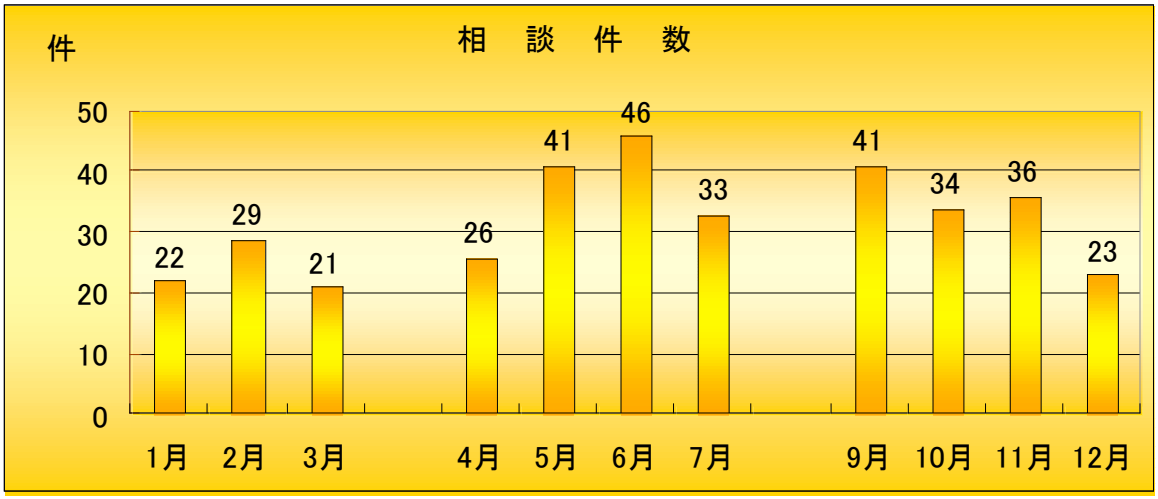

図　１　　月　別　相　談　件　数

３．相　談　者　及　び　相　談　の　主　訴　分　類

１）　相　談　者　の　分　類　　（　図　２　）

母　　親	----------	２６１　件	（　７４．１　％　）
学　校　教　員	----------	７　件	（　２・０　％　）
施　設　職　員	----------	６　件	（　１．７　％　）
幼稚園保育園担当者	----------	２６　件	（　７・４　％　）
親　　類	----------	２０　件	（　５・７　％　）
父　　親	----------	１２　件	（　３・４　％　）
本　　人	----------	９　件	（　２・６　％　）
そ　の　他	----------	１１　件	（　３・１　％　）

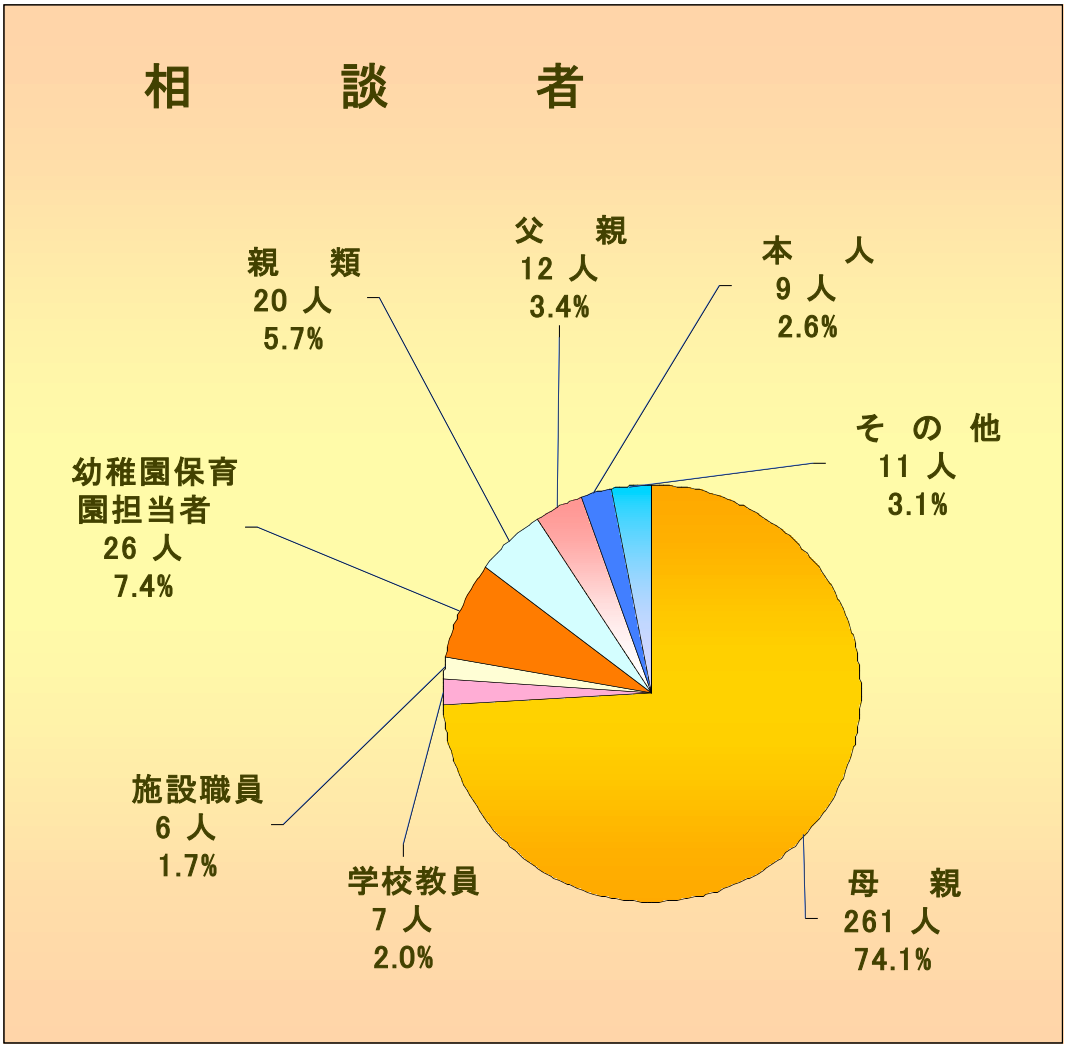

図　２　　相 談 者 の 分 類

２）相　談　者　の　居　住　地　域　　（ 図 ３ ）

東京都多摩地区	----------	１９０ 件	（ ５４．０ ％ ）
東　京　都（２３　区）	---------	６３ 件	（ １７．９ ％ ）
東京都以外の道府県	----------	８５ 件	（ ２４．１ ％ ）
海　　外	----------	３ 件	（ ０．９ ％ ）
不　　明	----------	１１ 件	（ ３．１ ％ ）

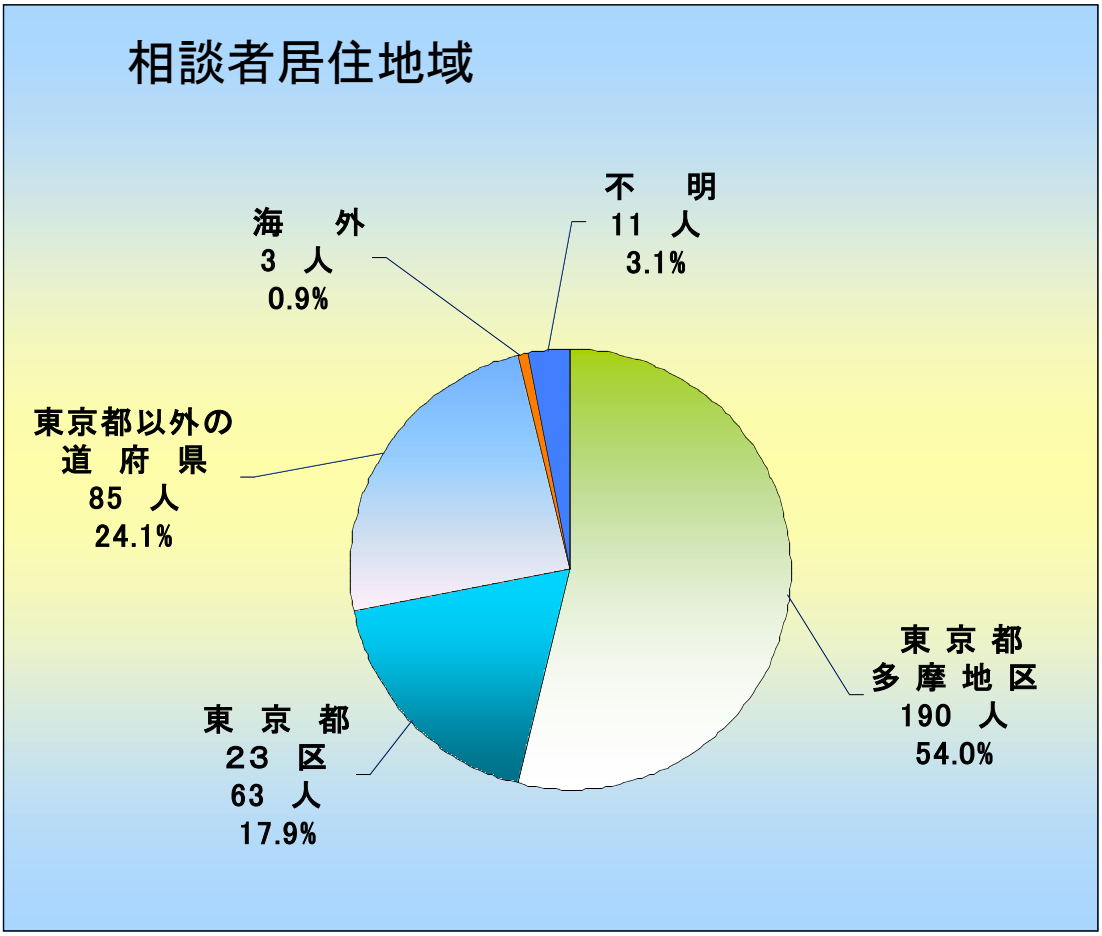

図　3　　相談者の居住地域

３）　相　談　の　契　機　　（　図４　重複あり　３５４　件　）

知人または紹介されて	----------	１０５	件	（　２９．７　％　）
ホームページから	----------	１３３	件	（　３７．６　％　）
パンフレットを見て	----------	１１	件	（　３・１　％　）
本や資料を見て	----------	３７	件	（　１０．５　％　）
附属養護学校から	----------	４	件	（　１・１　％　）
教員からの紹介	----------	４５	件	（　１２．７　％　）
不　明	----------	４	件	（　１・１　％　）
その他・含テレビ番組	----------	１５	件	（　４．２　％　）

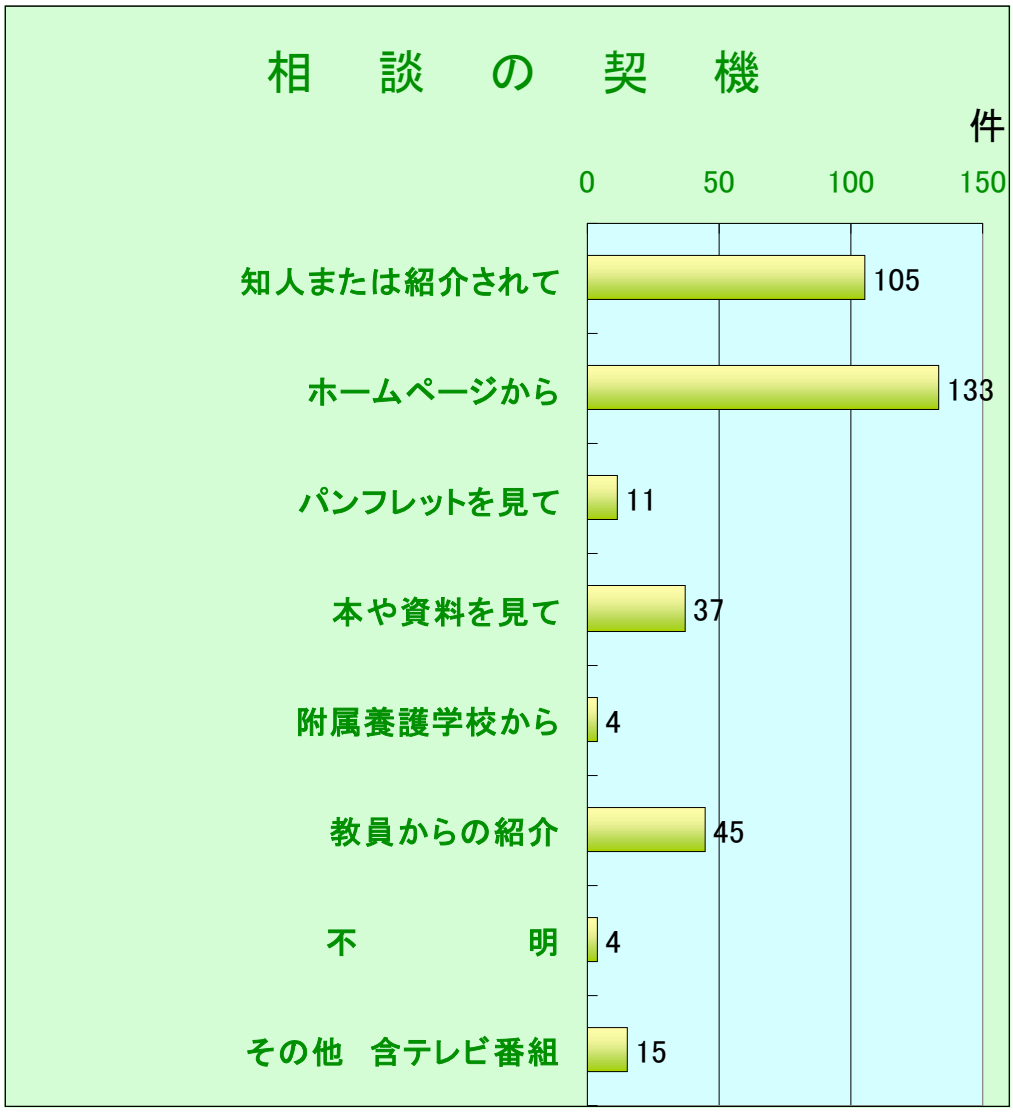

図　４　　相　談　の　契　機

４）　主　訴　分　類　　（　図　５　相談者からの重複相談件数　４６０件）

発　達　の　遅　れ	----------	４０	件	（　８．７　％　）
こ　と　ば　の　遅　れ	----------	４４	件	（　９．６　％　）
学　習　の　遅　れ	----------	５９	件	（　１２．８　％　）
発音の問題・吃音	----------	１５	件	（　３．３　％　）
集　団　不　適　応	----------	５９	件	（　１２・８　％　）
対人関係コミュニケーション	----------	７３	件	（　１５・９　％　）
多　　動	----------	１３	件	（　２．８　％　）
育　　児	----------	７	件	（　１．５　％　）
障　害　理　解	----------	２２	件	（　４．８　％　）
進路・就学・転学	----------	１１	件	（　２．４　％　）
機関の情報提供	----------	５３	件	（　１１．５　％　）
療育　・　指導方法	----------	２９	件	（　６．３　％　）
問　題　行　動	----------	８	件	（　１．７　％　）
当施設の指導希望	----------	９	件	（　２．０　％　）
そ　の　他	----------	１８	件	（　３．９　％　）

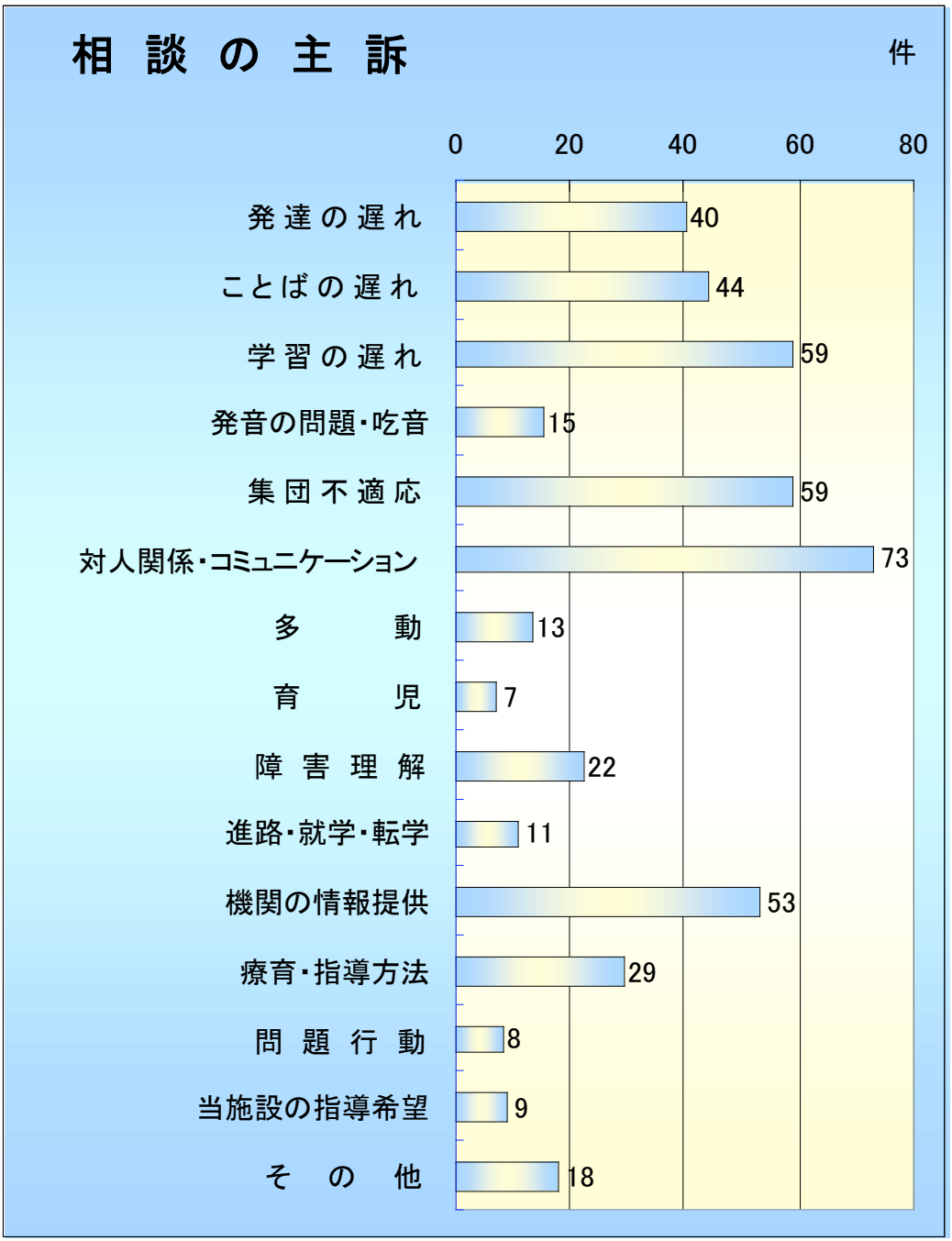

図　５　相談内容の主な分類

５）相談主訴の対象や内容の障害種別（ 図６　重複あり　障害児･者４０９件 ）

知的障害	----------	３７	件	（ ９．１ ％ ）
言語発達遅滞	----------	４３	件	（ １０．５ ％ ）
構音障害・吃音	----------	１１	件	（ ２．７ ％ ）
自閉症（ ｱｽﾍﾟﾙｶﾞｰ ）	----------	１５４	件	（ ３７．７ ％ ）
Ｌ　Ｄ	----------	６８	件	（ １６．６ ％ ）
ＡＤＨＤ	----------	４２	件	（ １０．３ ％ ）
ダウン症	----------	１０	件	（ ２．４ ％ ）
聴覚障害	----------	３	件	（ ０．７ ％ ）
不明・その他	----------	４１	件	（ １０．０ ％ ）

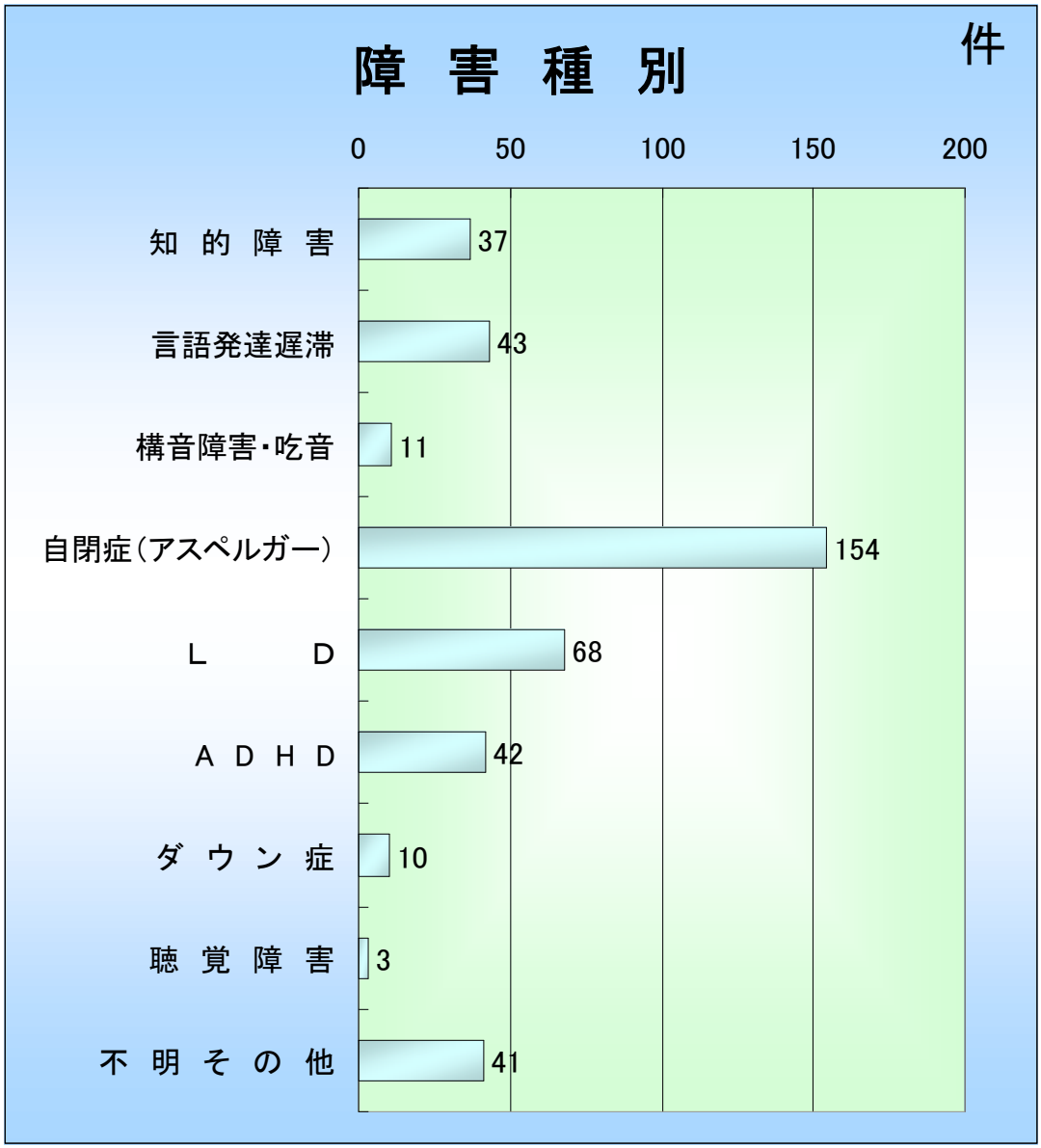

図　６　　相談主訴の対象や内容の障害種別

６）相談主訴の対象である障害児・者の年齢構成（　図７　障害児･者　３５２件　）

乳　児	（　０～２歳　）	--------	３７　件	（　１０．５　％　）
幼　児	（　２～６歳　）	--------	１１８　件	（　３３．５　％　）
小学校･小学部児童	（　６～１２歳　）	--------	１０９　件	（　３１．０　％　）
中学校・中学部生徒	（１２～１５歳）	--------	３２　件	（　９．１　％　）
１６　歳　以　上	（１６～１８歳）	--------	１７　件	（　４．８　％　）
成 人 ・１８ 歳 以 上		--------	２８　件	（　８．０　％　）
年　齢　不　明		--------	１１　件	（　３・１　％　）

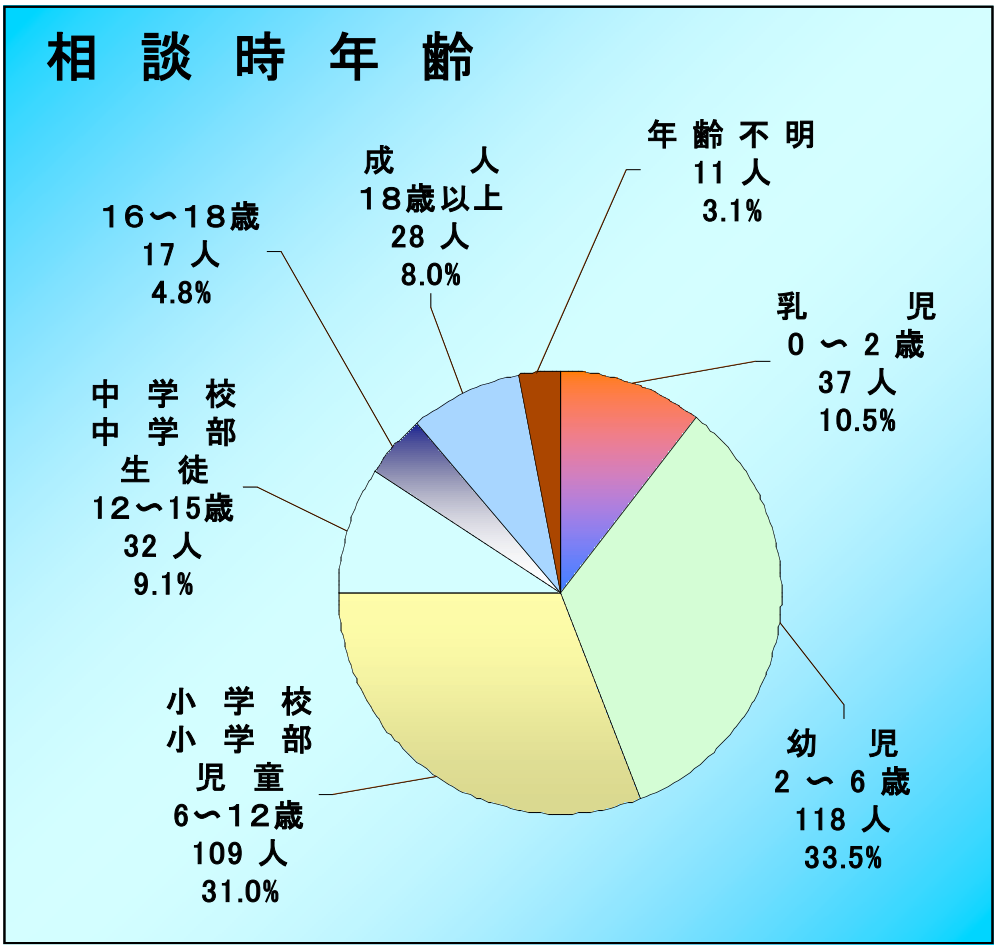

図　7　相談主訴の対象児・者の年齢構成

7）　相談結果とその処遇　（図　8　352　件）

教員による専門相談で終了	----------	177	件	（ 50.3 % ）
継続して相談	----------	117	件	（ 33・2 % ）
係りに渡しケース会議で要検討	----------	1	件	（ 0・3 % ）
来所相談が望ましい	----------	18	件	（ 5・1 % ）
他機関に紹介が望ましい	----------	7	件	（ 2.0 % ）
電話受付段階で終了	----------	32	件	（ 9・1 % ）

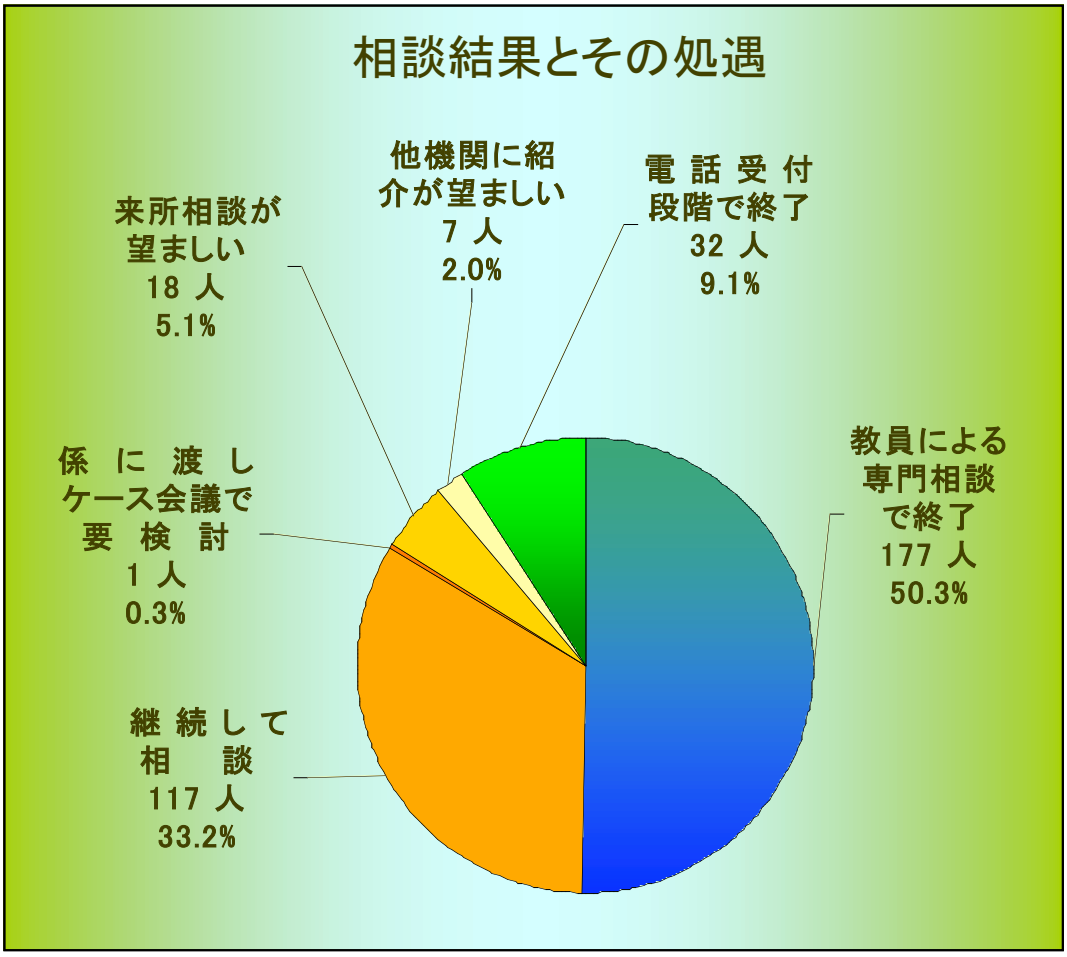

図 8　相談結果とその処遇